



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第474号 2020年5月24日発行



見えていなかったもの。 変わらないもの。

司祭 ヨハネ 古澤 秀利

お恥ずかしながら私は、新型コロナウイルス感染症が広まり行く中であつても、3月中頃まではあまり危機感を持っていませんでした。もちろん手洗いや各所の消毒、他者とある程度の距離を取るなど生活面で可能な限り注意は払っていました。まさかこれほどの事態になるとは予想していませんでした。

学校が一斉に休校になると、学校給食で必要な栄養を取らざるを得ない子どもが多数いることや、仕事のため子どもを預ける場所がどうしても必要な親御さんが多いことなどが報道されるようになりました。また、飲食店や遊興施設が「営業自粛」をする中で、コンビニやスーパーは営業を続けるよう行政からの要請がありました。ドイツではメル

ケル首相が3月18日の演説で「普段、感謝の言葉を述べることのなかった人々に対しても、この場を借りてお礼を申し上げます」と町のスーパーの店員へ謝意を表しました。また病院のスタッフも感染を心配しながら働き続けておられます。このコロナ禍で、普段わたし達が当たり前に行っているサービスが、実は「多くの人に支えられている」ところが浮き彫りにされました。

4月に入り緊急事態宣言がだされると、繁華街から人が消えました。多くの商業施設がシャッターを閉め、仕事を失う人も多く出ました。大阪では、ホームレスなどの支援団体が4月23日と24日に合同で仕事の斡旋や生活保護の申請サポートなどの相談会を実施しました。20代から80代ま

で、仕事を失った36人が訪れたと言います。この相談会の前二日間、いくつかの支援団体が集まって夜回りを行い、相談会開催のビラ配りを

行いました。釜ヶ崎だけでなく難波や梅田でも夜回りを行ったようです。ネットカフェが閉まり行き場の無くなった方々が多くいたようですが、相談会に行く必要性は感じながらも、皆一様に「まだ大丈夫だから」と答えたといえます。他者に頼ることを良しとしない風潮が「まだ大丈夫だから」という返事を引き出したのではないかと感じています。

私たちにとって最も大きな変化があります。病院や施設へお見舞いに行くことが難しくなりました。家族であっても週に二日、一回数分など時間が制限されています。教会に集まって礼拝を行うこともできない日が続いています。会えて当たり前だった人に会えない。いつもできて当たり前

前だった、一堂に会して共に祈ることができない。とてもつらいことです。

コロナ感染症の拡大は私たちの生活を大きく変えたと同時に、私たちがいつも目にしていたが見えていなかったものを可視化させました。給食で栄養を取らざるを得ない児童、多くの人に支えられている私たちの生活、住む家を持たない多くの人の存在。私たちの生活はいつも容易に変化させられるものだということが、どれも、目には見えていなかったことではないでしょうか。

大きな変化がある一方で変わらないことがあります。「主にあつて我ら是一つ」ということです。私たちの生活は大きく変えられても、キリストの愛、主の存在は変わることがありません。変わることはない主に繋がる私たちは、愛する人を、兄弟姉妹を、今まで見えていなかった人々を覚え、共に祈りましょう。

(ふるさわ・ひでとし 大阪 聖愛教会牧師、聖ガブリエル教会管理牧師)

新聖職リレーエッセー ①



「希望の標としての 宣教の5指標」

司祭 バルナバ 小林 聡



とされてきました。

5 番目の指標は1990年
にこの世界の痛み、被造物の
呻きを、世界の教会と共に、
聖公会も聞き取ろうとする中
から生まれたもので、私は
91年から神学生となり、そ
の事を教えられたことを今
も覚えています。そしてこの
5 指標を、イエス様の働きに
連なる2000年に渡る教会
の思いとして、受け止めたい
と思います。なぜなら神の国
を宣べ伝えるようにと言われ
たイエス様の教えが、1番目
の指標だからです。

今新型コロナウィルスの影
響下にあつて、これら5指標
は私たちに標を与えてくれ
ています。互いに大切にし合
う事、より弱い立場に置かれ
ている人々を中心にして祈り
行動すること。このことは、
コロナ以前からの祈りであり、

「聖公会の宣教の5指標」
①神の国のよき知らせを宣言
すること、②新しい信徒を教
え、洗礼を授け、養うこと、
③愛の奉仕によって人々の必
要に应答すること、④社会の
不正な構造を改革し、あらゆる
暴力に反対し、平和と和解
を追求すること、⑤被
造物の本来の姿を守り、
地球の生命を、維持・
再生するために努力す
ること」

宣教の5指標
The Five Marks of Mission

- 1) 神の国のよき知らせを宣言すること
To proclaim the Good News of the Kingdom
- 2) 新しい信徒を教え、洗礼を授け、養うこと
To teach, baptise and nurture new believers
- 3) 愛の奉仕によって人々の必要に应答すること
To respond to human need by loving service
- 4) 社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に
反対し、平和と和解を追求すること
To transform unjust structures of society, to chal-
lenge violence of every kind and pursue peace and
reconciliation
- 5) 被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・
再生するために努力すること
To strive to safeguard the integrity of creation, and
sustain and renew the life of the earth

ANGLICAN COMMUNION

私たちは、今この時に、歴史
を通して、5 指標を共通の標
としてきたことを積極的に受
け止め、私たちが大切にしてい
きたい標が与えられている
ことを、希望と捉えたいと思
います。不安と怖れの中にあ
つて、これらの指標は、威圧
的な力に抗う、希望の標とな
ることでしょう。

(こばやし・さとし 聖贖主教
会牧師、博愛社チャプレン)

この状況に思う

ペテロ 鈴木 憲二

「パンデミック」という言
葉を目にしたのが3月6日頃
だったでしょうか、この意味
が大流行であることを初めて
知りました。1月の末頃から
クルーズ船の乗客や、大阪で
外国からの旅行者による屋形
船での感染が報じられていま
した。勤務先にベトナム出身
の若い人がいますが、2月の
初めの頃、春節が話題に上り
ましたが、今年は感染を恐れ、
賑やかにしなかったようなこ

とを話されていました。それ
から日ごとに感染者が増えて
いったように思えます。
最初是对岸の火事と思つて
いたことが、ここまで広がる
ことは無いだろうと、多くの
方が感じていたことと思いま
す。連合男子会が主催する「祈
りと証しの会」は、3月10日
に予定されていましたが、や
むなく延期に至ってしまいま
した。証し人に予定されてい
た当舎葵さんには、改めて日

「聖職リレーエッセー」は
大阪教区報第459号から始
まり、第473号で現役聖職
が一巡しました。

第459号掲載の第1回目
には、リレーエッセーについ
て「聖職として遣わされた場
において今、大切にしている
こと、思っていること、考え
ていること等々をリレーで書
いていただき、改めて自分の

召命を温めていただくきつ
けになれば」と記されていま
す。このことを引き継ぎつつ
今号からは「新聖職リレーエ
ッセー」と題し、全聖公会で
用いられている「宣教の5指
標」を通して、宣教・牧会の
現場での思いや考え、または
5 指標それ自体への考えをリ
レーしていただきます。

今回は、フランチエスコ成
岡宏晃司祭です。
(編集部)

を設定しお願いすることにし
ています。礼拝が中止され、
人と人との交流ができないこ
とは、何と寂しいことでは
うか。教会に関わる仕事や活
動が、生活サイクルの中で奪
われてしまうことに、空しさ
を感じます。こういう状況で
私たちの心も体もまいってし
まいそうです。夜が明けない
日は無いことを思いつつ、見
えない敵がどこかに去って行
き、終息することを祈るばか
りです。その時まで主を信じ
て耐え忍びたいと思います。
(すずき・けんじ 尼崎聖ス
テパノ教会信徒)

「弱いときこそ強い」

エリザベツ 山村 小夜子

「主の平和がありますように！」と笑顔を交わし、握手やハグでの平和の挨拶。その光景はいつ戻ってくるのでしょうか。先の出口の見えないトンネル、見えない敵との闘い、それはいつまで続くのでしょうか。神さまは私たちに何を望まれ、何を訴えられているのでしょうか。厳寒な冬から温暖な春・イースターを

経て初夏へと移りかわっています。一面の桜の絶景から、最近はずつじの花に心が癒されます。季節はめぐり、時の流れは以前と何の変化はありません。しかし私たちの心の時計は止まったままです。教区婦人会におきまして役員・代表者の任期は三年です。現在二年目が経過しました。今年5月21日に予定されていま

した「昇天日礼拝・第96回総会」は新型コロナウイルスの影響を受け、中止を余儀なくされました。自然災害などが原因でしたら、努力次第で立ち直りが可能です。しかしこの度の事態はいつ終息するかわかりません。とにかく自粛待機するしかありません。人生を変える魔法の言葉とも言われます。私たちはこの時期にこそ、ゆっくり過去を見つめ内省するチャンスでもあると思います。そして輝かし

い日々の再来を信じ、いずれ夢に向かって活動出来る日常が戻って来ることを、心より願ひ祈ります。

「弱いときこそ強い」パウロの言葉を心に抱きながら、

「過酷な状況の中を貫いて生き抜くように」との神さまからのメッセージを強く受け止めています。主に感謝いたします。(やまむら・さよこ 川口基 督教会信徒)

「主日の祈りと聖書、そしてメッセージ」始まる

4月の常置委員会で主日礼拝の動画配信について話し合いがもたれ、4月26日復活節第3主日から「主日の祈りと聖書、そしてメッセージ」がネット配信される運びとなりました。毎週土曜日に主教座聖堂(川口基督教会)で撮影が行われています。動画は大阪教区ホームページとYouTubeのサイト・アプリで視聴できます。

(編集部)



「Thy Kingdom come」 ～み国が来ますように

「み国が来ますように」は、皆様よくご存じの「主の祈り」の中の一節です。この祈りが、昇天日から聖霊降臨日にかけて行われる、世界規模の運動のタイトルとして付けられました。この運動は、2016年に英国聖公会に向けて発せられたカナタベリー大主教とヨーク大主教の呼

びかけによって始められ、今は教派を超えたエキシメニカル(超教派)な運動となっています。この運動は、「み国が来ますように」を祈るすべての人々が、主イエスとの交わりを深め、主イエスの証し人となる自信を新たにし、他の人々を主イエスのもとに招き、導くことを目的としています。

その一つとして、2020年のお祈りの期間(5月21日昇天日、31日聖霊降臨日)は、お手元に届いております「しおり」の14頁の説明をもとに、5名の方々の名前を書いていたきました。そして、主イエスを紹介し主イエスのもとに招きたいこの5名の方々を、憶え祈っていたきました。

「主日の祈りと聖書、そしてメッセージ」について

感染防止対応として、公の礼拝などを5月31日まで休止



「み国が来ますように」
(主教アンデレ)

と致しました。先が全く見えない中、主教として何らかの方法で、教区の皆様と「主にある交流」をしたいと願っておりましたところ、聖職有志からITを活用してはという提案を頂きました。「主日の祈りと聖書、そしてメッセージ」を配信することになりました。できれば、現役・退職の教役者にも登場いただきたく願っております。オルガン演奏も加わってほしいと願っております。どうぞよろしくお願ひします。 主教アンデレ

教 区 の 動 き

常置委員会報告

4月15日(第7回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

*6月の管区総会は延期となつた。延期時期は10月27日(火)～29日(木)予定。
 *ランベス会議も1年の延期。
 II. 協議事項
 *新型コロナウイルス感染防

止のため、主日礼拝及び公の礼拝を中止とする期間を5月30日(土)まで延長する。
 *延期となっている臨時教区会の開催時期は継続検討とする。
 *4教会から申請の出ている牧会補助金は、暫定的に8割支給とし継続審議とする旨の財務委員会報告を承認した。
 *今年度の教区費分担金について、各教会一律に1ヶ月分を免除するとの財務委員会報告を承認した。

*4月30日(木)予定の京都教区との合同常置委員会は延期とする。
 *石橋聖トマス教会の法人格教区一元化について、教区会での承認が必要であり、臨時教区会開催のめどが立たないため対応について継続審議とする。



魂の平安を 祈ります

○大阪聖ヨハネ教会

ダビデ

(4月23日)

戴内

正明

82歳

○大阪聖愛教会

ヨハネ

(4月25日)

西岡

貞裕

55歳

○芦屋聖マルコ教会

マルコ

(4月21日)

宮原

剛

60歳

教区関係教役者 逝去者記念聖餐式

6月10日(水)午前10時30分～

◇司式者 司祭ウイルソン ウォーレン

- 司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)
- 司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)
- 司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)
- 司 祭 ウィリアム・ベンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)
- 司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)
- 司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)
- 司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)
- 司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)
- 伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)
- 司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)
- 司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)
- 司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)
- 宣教師 エディス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)
- 主 教 横田 道信 (1946.6.29)
- 宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)
- 司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)
- 司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

編集後記

今私達は、これまで経験したことのないウィルス感染の恐怖、自粛による不自由の渦中にいます。教会で集まっていたの礼拝や集会を自粛せざるを得ない状況が長引いている中、孤独に思い、不安な思いに陥っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。普通に教会で集まってお祈りを捧げ、親睦の時を過ごせた事がいかに有難く私達の心のより所となっていたかを思い知らされています。今号では、教会だけではなく、私達の教区とも繋がる事ができる共同体である教区婦人会、連合男子会の会長様にもメッセージをいただきました。私たちはひとりぼっちではありません。信徒同士が集まる事ができない中でも、それぞれの教会でオンライン礼拝等の新しい試みもされていますし、教区では毎主日、主教様のメッセージが動画配信されています。教区報も今年から毎月発行されています。是非、このようなアイテムを元に、常に連なっていきたいと思います。 K・S